

IBM DB2 Information Integrator



Classic Federation for z/OS リリース情報

バージョン 8.2

IBM DB2 Information Integrator



Classic Federation for z/OS リリース情報

バージョン 8.2

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、7ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書には、IBM の専有情報が含まれています。その情報は、使用許諾条件に基づき提供され、著作権により保護されています。本書に記載される情報には、いかなる製品の保証も含まれていません。また、本書で提供されるいかなる記述も、製品保証として解釈すべきではありません。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： IBM DB2 Information Integrator
Release Notes for Classic Federation for z/OS
Version 8.2

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2004.10

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

目次

本書について	v	Data Mapper の文字サポート	4
トラブルシューティング	1	メタデータ・ユーティリティー	4
既知の制限、問題、および予備手段	3	資料の更新	5
SAF 出口	3	資料の訂正事項	5
データ・タイプのサポート	3	新規資料	5
JES ログのオーバーフロー	3	特記事項	7
ODBC および CLI ドライバーのサポート	3	商標	9
SQL のデータ・タイプおよびパラメーターのサポ ート	3		

本書について

リリース情報には、IBM® DB2® Information Integrator Classic Federation for z/OS® バージョン 8.2 に関する最新情報が含まれています。

リリース情報は 2 つの部分で構成されています。前半では、発表時に判明しており、最新バージョンの製品に適用される問題、制限、および予備手段を詳しく説明しています。DB2 Information Integrator のこのリリースに関する既知の未解決問題を確認するためには、これらの情報を参照してください。後半では、以前にリリースされた PDF および印刷資料に対する訂正事項および更新情報について説明しています。

トラブルシューティング

問題が発生したら、以下の診断情報の一部またはすべてを提出できるようにしてください。

サーバー・ログに取り込まれたすべての該当構成ファイル

例えば、以下に関するものです。

- データ・サーバー
- 相関サーバー
- 照会プロセッサ
- ユーザー・オーバーライド

サーバー・ログは MTO DISPLAY コマンドを使用して収集できます。使用する MTO コマンドについては、「*IBM DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Classic Event Publishing* の管理ガイドおよび解説書」を参照してください。

データ・サーバー JCL で参照される SCACCONF データ・セットの構成ファイルを送ることもできます。

場合により送る必要のあるその他の情報

- データ・サーバーのすべての出力
- 該当するすべての DBD、サンプル集、照会、および USE 文法
- トレース・ファイル

トレースは、相関サーバーのみで実行できます。

詳細な診断のため、場合によっては IMS™ トランザクション・ログおよび CICS® ログを提出する必要があります。

トレースについては、「*IBM DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Classic Event Publishing* の管理ガイドおよび解説書」を参照してください。

- システム・ダンプ

異常終了が発生した場合、完全なシステム・ダンプは自動的に生成されません。異常終了を再現できる場合は、適切な SYSMDUMP DD を追加してダンプを生成できます。SYSMDUMP が要求されると、ダンプは、SYSMDUMP DD で定義されたデータ・セットに送られます。

- キューからのフォーマット設定メッセージ (イベント・パブリッシャーのみ)。ep_extras.zip ファイルには、メッセージ・キューを読み取るプログラムおよびキュー定義が含まれています。

z/OS における異常終了の問題

エラー時の PSW と REGS、および SAS/C 関数呼び出しトレース・スタックを確認します。PSW および REGS は、データ・サーバー出力の JESMSG LG および JESYSMSG で確認できます。SAS/C 関数呼び出しトレ

ース・スタックは、データ・サーバー出力 SYSTEM、または SYSnnnnn などのシステム生成 DD で確認できます。

異常終了が問題である場合は、エラー発生時に、呼び出しスタックからのトレースバック情報が標準出力に送信されます。バッチ実行の場合、トレースバック情報はジョブ・ログに送信されます。

UNIX CLI クライアントにおける異常終了の問題

コア・ダンプまたはメモリー・ダンプを提出します。通常、作成されるファイルの名前は「core」で始まります。

メタ・ユーティリティの問題

問題のあった実行の SYSOUT を提出します。

接続の問題

クライアントおよびデータ・サーバーの SYSOUT を提出します。エラー・メッセージの画面をキャプチャーするか、受け取ったエラー・メッセージの内容をコピー・アンド・ペーストします。

ODBC トレース情報については、ODBC データ ソース アドミニストレータから ODBC トレースを生成できます。

JDBC トレース

JDBC トレース情報の場合は、以下のステップに従って JDBC トレースを作成します。

1. 接続ストリングにパラメーター TRACELEVEL を追加します。
TRACELEVEL パラメーター名は大文字にする必要があります。URL を使用する場合は、ストリングを更新します。

例えば、次のようにします。

```
jdbc:cac:<DSNAME:tcp/<host name>/port:TRACELEVEL=10
```

2. JNDI オブジェクトを使用する場合 (データ・ソース構成) は、接続オブジェクトのプロパティを更新し、ポート番号プロパティの値を変更します。TRACELEVEL パラメーター名は大文字にする必要があります。

例えば、次のようにします。

```
portnumber:TRACELEVEL=10
```

3. 標準出力からの出力を収集し、このトレース情報を送ります。

既知の制限、問題、および予備手段

ここでは、DB2 Information Integrator Classic Federation for z/OS バージョン 8.2 の、現在判明している制限、問題、および予備手段について説明します。制限または制約事項については、他の製品リリースには適用されない場合があります。

SAF 出口

z/OS オペレーティング・システムでは、テスト・クライアント・プログラム CACSAMP は、SAF セキュリティー出口をサポートします。

データ・タイプのサポート

JDBC ドライバーは以下のものをサポートしません。

- SQL の SELECT および DELETE ステートメントの WHERE 文節で、LONG VARCHAR または LONG VARGRAPHIC データ・タイプを使用する照会
- SQL の SELECT、UPDATE、および DELETE ステートメントの WHERE 文節における、GRAPHIC データ・タイプのパラメーター・マーカ

ODBC ドライバーは、LONG VARGRAPHIC データ・タイプのパラメーター・マーカを含む SQL ステートメントをサポートしません。

JES ログのオーバーフロー

OMVS (z/OS 上) で MAXFILEPROC のデフォルト設定である 32768 を使用すると、JES ログがエラーでいっぱいになります。

予備手段: MAXFILEPROC の設定値を 2000 以下に変更します。

- MAXFILEPROC を 32768 の値に設定すると、同時接続数が 23 に制限されるため、JES ログのオーバーフローが発生します。
- MAXFILEPROC を 2000 以下の値に設定すると、同時接続数は CACINIT パラメーターによって制限されます。
- MAXFILEPROC を 2000 から 32768 までの値に設定すると、データ・サーバーを開始したときに、接続ハンドラーが終了します。

ODBC および CLI ドライバーのサポート

ODBC および CLI ドライバーは、SQLProcedureColumns API をサポートしません。

SQL のデータ・タイプおよびパラメーターのサポート

SQL_VARCHAR

SQL_VARCHAR パラメーターと入出力パラメーター (SQL_PARAM_INPUT_OUTPUT) を同時に使用することはできません。

予備手段: 入力用と出力用に個別のパラメーターを使用します。

LONG VARCHAR

- LONG VARCHAR タイプのパラメーターと入出力パラメーター (SQL_PARAM_INPUT_OUTPUT) を同時に使用することはできません。

予備手段: 入力用と出力用に個別のパラメーターを使用するか、VARCHAR データ・タイプのパラメーターを使用します。

- LONG VARGRAPHIC データ・タイプでは、GRAPHIC/SUBSTR 関数を使用できません。

CHAR

パラメーターが SQL CHAR タイプの出力パラメーター (SQL_PARAM_OUTPUT) である場合は、SQLBindParameter API に SQL_NULL_DATA を指定しないでください。

予備手段: StrLen または IndPtr の有効な値を指定します。

GRAPHIC、VARGRAPHIC、LONG VARGRAPHIC

- GRAPHIC、VARGRAPHIC、および LONG VARGRAPHIC の列について LENGTH 関数が戻す値は誤っています。長さは DBCS 文字数でなく、バイト数で報告されます。
- GRAPHIC データ・タイプのサーバー・コード・ページに、未定義の文字を指定しないでください。ターゲットの列タイプが GRAPHIC の場合、未定義の文字は置換文字として変換されないため、グラフィック・データのデコード・エラーが発生します。

Data Mapper の文字サポート

Data Mapper ツールに入力できる有効な文字は、A から Z、0 から 9、_、#、\$、および @ です。ただし、Data Mapper は、無効文字の使用を制限していません。

メタデータ・ユーティリティー

メタデータ・ユーティリティーには正しい USEGRAMMAR を使用するようしてください。メタデータ・ユーティリティーは、USEGRAMMAR の LENGTH および DATATYPE を検証しません。リモート IMS データ・ソースの場合、メタデータ・ユーティリティーは DBD の BYTES および USEGRAMMAR の LENGTH を検証しません。

資料の更新

以下のセクションでは、以前にリリースされた PDF および印刷資料に対する訂正事項および追加情報について説明します。

資料の訂正事項

資料タイトル: 「*IBM DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Classic Event Publishing* のインストール・ガイド」

訂正 3 の 1:

資料中の場所: 第 2 章内の『新規システムをインストールする』

訂正: ステップ 1 の箇条書きにおいて、**HILV** を **HILEV** に置き換えます。

訂正 3 の 2:

資料中の場所: 第 3 章内の『インストールの説明』(Windows® および UNIX®)

訂正: 接頭部 CFEP を接頭部 CAC に置き換えます。以下のようにします。

- CFEP82AX を CAC82AX に変更します。
- CFEP82HP を CAC82HP に変更します。
- CFEP82SO を CAC82SO に変更します。
- CFEP82WN を CAC82WN に変更します。

訂正 3 の 3:

資料中の場所: 第 3 章内の『JDBC クライアントの接続をテストする (UNIX または UNIX システム・サービス)』

訂正: ステップ 2 において、例を次のように置き換えます。

```
export CLASSPATH=./cacjdbc21.jar
```

新規資料

資料タイトル: 「*IBM DB2 Information Integrator Classic Federation* および *Classic Event Publishing* の管理ガイドおよび解説書」

資料中の場所: 第 19 章『2 フェーズ・コミット』

追加: 新しいセクションで、1 フェーズ・コミット・トランザクションおよび 2 フェーズ・コミット・トランザクションについて説明します。また、データ・サーバーが、トランザクション分離レベル READ_UNCOMMITTED のみをサポートすることについても説明します。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木 3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。お客様は、IBM のアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生した創作物には、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年), このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM
CICS
DB2
IMS
WebSphere
z/OS

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、Intel Inside (ロゴ)、MMX および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。



Printed in Japan